教科	外国語	科目	英語:	コミュニケー	-ションⅡ		単位数	4	単位
対象学年	第 2	学年							
授業担当者									
使用教科書	All Aboard! Engli	sh Communic	ation II	副教材		1	使用しない	,1	
スクーリング	必要出席時間数	4 単位×	4 =	16 時間以上	スクーリ	ング	「とレポー	トを両	方合格
レポート	必要提出枚数	4 単位×	3 =	12 枚	すること	で履	修が認め	られる。	,
期末試験	合格得点目標	平均点の	半分以	上	考査範囲のスク	カーリン	ノグ受講とレポー	-ト提出が受	受験要件

【科目の目標】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
必要な情報を聞き取り、話し手の	本文や会話などから概要や要点を	基本的な語句や文を用いて、情報
意図を把握することができる。	正しく捉え、自分の考えを持つこ	や自分の考え、気持ちなどをまと
必要な情報を読み取り、書き手	とができる。また、自分の考えや	め、話したり書いたりして伝え合
の意図を把握することができ	気持ちを文章にして表現すること	おうとしている。
る。	ができる。	

月	指導単元・項目		学習方法		レポート	評值	田の種	見点	配当
7	拍导半儿· 填口	スクーリング	レポート	試験	(〆切期日)	知	思	主	時間
4	Lesson1 A Colorful Island	00	00			0	0	0	4
	Lesson2 With the Beatles	00	00		No. 1→4/24	0	0	0	4
5	Lesson3 Wild Men	00	00		No. 2→5/8	0	0	0	4
	Lesson4 Little Hero	00	00		No. 3→5/22	0	0	0	4
6	Lesson5 Special Makeup in Kabuki	00	00		No. 4→6/12	0	0	0	4
	文法のまとめ 1,2 Reading 1	00	00		No. 5→6/27	0	0	0	3
7	文法のまとめ 1,2 Reading 1	00	00		No. 6→7/11	0	0	0	1
	Lesson6 Seeds for Future Generations					0	0	0	2
9	前期期末試験			00		0	0	0	1
	Lesson6 Seeds for Future Generations	00	00		No. 7→9/11	0	0	0	2
	Lesson7 Over the Wall	00	00		No. 8→9/25	0	0	0	4
10	Lesson8 Inspiration from Nature	00	00		No. 9→10/16	0	0	0	4
	L9 The Bitter Truth behind Chocolate	00	00		No. 10→10/30	0	0	0	4
11	Lesson10 Fighting Angel	00	0 🗆		No. 11→11/20	0	0	0	4
	文法のまとめ 3,4 Reading 2	00	00			0	0	0	4
12	期末試験対策	00			No. 12→12/4	0	0	0	2
1	期末試験対策	00				0	0	0	3
2	後期期末試験(1,2年)			00		0	0	0	1
	1年間の総復習	00				0	0	0	3
3	1年間の総復習	00				0	0	0	3

教科	理科	科目	化学基	Ŀ 礎				単位数	2	単位
対象学年	第 2	学年								
授業担当者										
使用教科書	東書「新編化学基	基礎」(生	基 702	2)	副教材	ニューサ	ポー	ト新編化:	学基礎	
スクーリング	必要出席時間数	2 単位	<u>z</u> × 4	=	8 時間以上	スクーリ	ング	`とレポー	トを両	方合格
レポート	必要提出枚数	2 単位	ī×3	=	6 枚	すること	で履	修が認め	られる。	0
期末試験	合格得点目標	20		点	以上	考査範囲のスク	ラーリン	グ受講とレポー	-ト提出が	受験要件

【科目の目標】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活や社会との関連を図り	観察, 実験などを行い, 科学的に	物質とその変化に主体的に関わ
ながら、物質とその変化につい	探究する力を養う。	り,科学的に探究しようとする
て理解するとともに、科学的に		態度を養う。
探究するために必要な観察、実		
験などに関する基本的な技能を		
身に付ける。		

月	指導単元・項目		学習方法		レポート	評值	西の勧	見点	配当
7	旧得甲兀・垻日	スクーリング	レポート	試験	(〆切期日)	知	思	主	時間
4	1編 化学と人間生活	0	0		No.1	0	0	0	4
	1章 化学とは何か								
	2章 物質の成分と構成元素								
5	2編 物質の構成	0	0		No.1	0	0	0	7
	1章 原子の構成と元素の周期				5/8				
	表(1節 原子の構造)				No.2				
6	(2節 電子配置と周期表)	00	0		No.2	0	0	0	5
	2章 化学結合				6/12				
	(1 節 イオンとイオン結合、				No.3				
	2節 分子と共有結合)								
7	(3 節 金属と金属結合、4 節	00	0		No.3	0	0	0	4
	化学結合と物質の分類)				7/10				
8	試験対策								
9	前期期末試験 テスト直し			0		0	0		8
	3編 物質の変化								
	1章 物質量と化学反応式	00	00		No.4	0	0	0	
	(1 節 原子量・分子量・式量~								
	3節 溶液の濃度)								
10	(4節 化学反応の表し方~5節	ОП	00		No.4	0	0	0	8
	化学反応式の表す量的関係)				10/9				
	2章 酸と塩基								

	(1節 酸と塩基、2節 水素イ	ОП	ОП		No.5				
	オン濃度とpH)								
11	(3節 中和反応と塩の生成、				No.5	0	0	0	4
	4 節 中和滴定)				10/30				
	3章 酸化還元反応								
	(1節 酸化と還元、2節 酸化	$O\square$	ОП		No.6				
	剤と還元剤)								
12	(3節 金属の酸化還元反応)	0	00		No.6	0	0	0	2
					12/11				
1	試験対策			0		0	0		6
2	後期期末試験(年) テスト直し								6
	(4節 酸化還元反応の応用)					0	0	0	
3	酸と塩基 実験					0	0	0	4
	終章 化学が拓く世界								

教科	国語	科目		古典探究	,	単位数	4	単位
対象学年	第 2	学年						
授業担当者								
使用教科書	新編古典探究 東	書	•	副教材	新編古典探	究 学習課題	ノート	
スクーリング	必要出席時間数	4単位×	1 =	4 時間以上	スクーリン	グとレポート	トを両方	う合格す
レポート	必要提出枚数	4単位×	3 =	12枚	ることで履	修が認められ	る。	
期末試験	合格得点目標		2	0 点以上	考査範囲のスクー	リング受講とレポート	ト提出が受験	要件

【科目の目標】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
生涯にわたる社会生活に必要な国語	「読むこと」の領域において、論理的に考え	言葉を通じて積極的に他者や社会に関				
の知識や技能を身に付けるとともに、	る力や深く共感したり豊かに想像したりす	わったり、思いや考えを広げたり深め				
我が国の伝統的な言語文化に対する	る力を伸ばし、古典を通して先人のものの	たりしながら、言葉がもつ価値への認				
理解を深めようとする。	見方、感じ方、考え方と関わる中で伝え合う	識を深めようとしているとともに、進				
	力を高め、自分の思いや考えを広げたり深	んで古典に親しみ、言葉を効果的に使				
	めたりすることができる。	おうとする。				

月	指導単元・項目		学習方法		レポート	評值	西の観	見点	配当
"	拍得単兀・墳日	スクーリング レポート 試験 (〆		(〆切期日)	知	思	主	時間	
4	古文 I -1 説話『宇治拾遺物語』	\circ	$\bigcirc\Box$		No.1	0	0	0	6
					4/30	0	0	0	
5	古文 I -3 作り物語『竹取物語』	0	00		No.2, 3	0	0	0	7
	古文 I-2 随筆『徒然草』				5/30				
6	古文 I-2 随筆『方丈記』	ОП	\square		No.4, 5	0	0	0	7
	漢文 I -1 故事『蛇足』『断腸』				6/30	0	0	0	
7	漢文 I-2 唐詩と文	ОП	\square		No.6	0	0	0	3
	『歓酒』他、『雑説』				7/18				
8	試験対策								
9	前期期末試験			0	No.7	0	0	0	7
	古文 I -4『小倉百人一首の世界』	0	0		9/30	0	0	0	
10	古文 I-5 日記『土佐日記』	0	0		No.8, 9	0	0	0	7
	『更級日記』				10/31				
11	古文 I -6 軍記物語『壇の浦の合戦』	00	0		No.10, 11	0	0	0	7
	漢文 I-3 史記『四面楚歌』				11/28				
12	漢文 I −4 中国の知恵	ОП	00		No.12	0	0	0	3
	『出藍誉』『侵官之害』				12/12				
1	試験対策	ОП	00			0	0	0	3
2	後期期末試験(1,2年)			0		0	0	0	7
	古文総復習					0	0	0	
3	漢文総復習	0				0	0	0	3

教科	莹	芸術	科目			書道	I		単位数	2	単位
対象学年	第	2	学年								
授業担当者											
使用教科書	書道 I	東書				副教材					
スクーリング	必要出	席時間数	2単位	立× 4	=	8 時間以上	スクーリ	ンク	ブとレポー	トを両	方合格
レポート	必要提	出枚数	2単位	立× 3	=	6枚	すること	で履	修が認め	られる。	o
期末試験	合格得	点目標	3	0	点	以上	考査範囲のス	クーリン	ング受講とレポー	ート提出がき	受験要件

【科目の目標】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書の表現方法や形式・書表現の	書の良さや美しさを感受し、作	主体的に書の表現及び幅広い活
多様性について幅広く理解す	品や書の伝統と文化の意味や価	動に取り組む。
る。書写能力を高め、基礎的な技	値を考え、書の美を味わう。	
能を身に付ける。		

	化溢光二 在口		学習方法		レポート	評价	断の種	見点	配当
月	指導単元・項目	スクーリング	レポート	試験	(〆切期日)	知	思	主	時間
4									
5									
6	書写から書道へ	00	0		No. 1 ~ 2	0	0	0	3
7	漢字の書	0	0		No. 3∼ 4	0	0	0	3
8									
9	前期期末試験								
10									
11	仮名の書	00	00		No. 5∼ 6	0	0	0	2
12									
1	学年末試験(3年)								
2	学年末試験(1,2年)								
3									

教 科	数 学	科目		数 学	В	<u>ì</u>	単位数	2単位	
対象学年	第 2 学	年	クラ	ス	G	組		H 組	
授業担当者									
教 科 書	数学B Stan	dard 東	京書籍	補助教材	WI	WRITE 数学B 東京書籍			
スクーリング	必要出席時間数	2 単位	× 1 =	2 時間以上	スクーリ	リングと	: レポー	トを両方合格	
レポート	必要提出枚数	2 単位	x 3 =	6枚	すること	で履修	が認め	られる。	
定期考査	合格得点目標	平均,	点の半分り	上	考査範囲のス	クーリング	受講とレポー	- ト提出が受験要件	

【科目の目標】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
数学は何千年もの年月を経て発	数列、統計的な推測、数学と社会	教科書の例や例題の内容を理解
展し、現在でも活発に研究され	生活を学び、世界共通の表し方	し、解法の書き方を覚え、それに
進化している。普段の生活の場	と記法を身に付け、これらを用	沿って練習問題で自分の解答を
面で、その数学の知識や技能を	いて論証を進める能力を養う。	作る能力を養い、学んだ事を人
身に付ける能力を養う。		に説明する力を付ける。

月	指導単元・項目		学習方法		レポート	評值	西の勧	見点	配当
Я	11号半ル・項目	スクーリング	レポート	考査	(〆切期日)	知	思	主	時間
4	数 列(1)漸化式の帰納的定義	00	00			0	0	0	
月	(2)等差数列とその和				No. 1 4/23	0	0	0	6
5	(3) 数学的帰納法の導入	00	ОП		No. 2 5/14				
月	(4) 等比数列とその和式					0	0	0	6
6	(5)数列の和と記号Σ	00	00		No. 3 6/11				
月	(6) 隣接二項間漸化式					0	0	0	7
7	確率分布(1)確率の計算	00	00		No. 4 7/09	0	0	0	
月									2
8月	前期期末考査対策授業	00	ОП						2
9	(2)確率分布と期待値	00	ОП	前期期末考査	No. 5 9/10				
月	(3)分散と標準偏差			ОП		0	0	0	6
10	(4)確率分布と標準偏差	ОП	ОП		No. 6 10/15	0	0	0	
月	(5)分散の簡便法								5
11		00				0	0	0	
月	(6) 反復試行の確率分布								5
12 月		00				0	0	0	3
1		00				0	0	0	
月	(7) 二項分布								4
2	学年末考査対策授業	00		学年末考査		0	0	0	
月	(8) 二項分布の平均と分散			00					6
3	(9) 正規分布の平均と標準偏差	00				0	0	0	4
月									

教科	数学	科目		数学Ⅱ			単位数	4	単位
対象学年	第 2	学年							
授業担当者									
使用教科書	新数学Ⅱ 東京	書籍		副教材	ニューフ	アー	スト新数学	ŹⅡ	東京書籍
スクーリング	必要出席時間数	4 単位×	1 =	4 時間以上	スクーリ	ング	゛とレポー	トを	両方合格
レポート	必要提出枚数	4 単位×3	3 =	12 枚	すること	で履	修が認め	られる	5.
期末試験	合格得点目標	平均点の	#分	以上	考査範囲のスク	ァーリン	ッグ受講とレポー	-ト提出フ	が受験要件

【科目の目標】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
数学は何千年もの年月を経て発	方程式・式と証明、図形と方程式	教科書の例や例題の内容を理解
展し、現在でも活発に研究され	三角関数、指数・対数関数を学び、	し、解法の書き方を覚え、それに
進化している。普段の生活の場	世界共通の表し方と記法を身に付	沿って練習問題で自分の解答を
面で、その数学の知識や技能を	け、これらを用いて論証を進める	作る能力を養い、学んだ事を人に
身に付ける能力を養う。	能力を養う。	説明する力を付ける。

月	指導単元・項目		学習方法		レポート	評値	町の種	見点	配当
Я	相等半儿 現日	スクーリング	レポート	試験	(〆切期日)	知	思	主	時間
4	方程式(1)乗法公式と2項定理	0	00			0	0		4
	(2)方程式の解の種類	0	00			0	0	0	4
5	複素数(1)解と係数の関係	0	00		No. 1→5/9	0	0	0	4
	(2)剰余定理と因数定理	0	00		No. 2→5/30	0	0	0	5
6	(3) 3次方程式の解法	00	00		No. 3→6/13	0	0	0	4
	(4) 恒等式の証明	00	00		No. 4→6/20	0	0	0	3
	座 標(1)内分点と外分点	0	00		No. 5→6/27	0	0		3
7	方程式(1)直線の方程式	00	ОП		No. 6→7/11	0	0	0	3
	(2)円の方程式	00	00			0	0	0	3
8	前期期末考査対策	0				0			2
9	前期期末考査			ОП		0	0	0	1
	領 域(1)方程式と軌跡	0	ОП			0	0	0	3
	(2)不等式の表す領域	ОП	ОП		No. 7→10/3	0	0		3
10	三角関数(1)三角関数とグラフ	0	ОП		No. 8→10/17	0	0	0	2
	(2)補角公式と余角公式	0	00		No. 9→10/31	0	0	0	3
11	(3)三角関数の加法定理	00	ОП		No. 10→11/14	0	0	0	3
	指数対数(1)指数関数とグラフ	00	00		No. 11→11/28	0	0	0	4
12	(2)対数関数とグラフ	00	00		No. 12→12/12	0	0	0	4
1	期末試験対策	00				0			2
	学年末試験(1,2年)			ОП		0	0	0	1
2	1年間の総復習	0				0	0	0	4
3	1年間の総復習	0				0	0	0	4

教科	地理歴史	科目	4目 世界史探究			単位数	3	単位
対象学年	第 2	学年						
授業担当者								
使用教科書	世界史探究 東	書		副教材				
スクーリング	必要出席時間数	3 単位×	1 =	3 時間以上	スクーリン	ノグとレポー	トを両	方合格
レポート	必要提出枚数	3 単位×	3 =	9枚	することで	で履修が認め	られる。	
期末試験	合格得点目標	20	点	以上	考査範囲のスクー	- リング受講とレポ-	-ト提出が受	験要件

【科目の目標】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わ	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わ	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わ
る諸事象について理解し、諸資料から世界	る事象の意味や意義,特色などに着目し	る諸事象について,見通しを持ち、国家及
の歴史に関する情報を適切かつ効果的に	て、考察,構想したことを効果的に説明し	び社会の形成者として、よりよい社会の実
調べまとめる技能を身につけるようにす	たり、それらを基に議論したりする力を養	現を視野に課題を主体的に探究しようと
る。	う。	している。

<u> </u>	【午间指導計画】次字省方法懶の〇は廻ち廻る、口は廻「仕毛・配当時间は廻ち生を基準とする。								
月	指導単元·項目		学習方法		レポート	評值	西の勧	見点	配当
	14470 751	スクーリング	レポート	試験	(〆切期日)	知	思	主	時間
4	序章——世界史へのまなざし	0	ОП		No. 1	0	0	0	4
	第1編1章 古代文明の出現				4/25				
5	第2章 西アジアと地中海周辺	0	00		No. 2 5/9	0	0	0	4
6	第3章 南アジア、第4章 東南アジア、	00	00		No. 3	0	0	0	4
	第5章 東アジアと中央ユーラシア				5/23				
7	第6章 アフリカ、オセアニア、古アメリ	00	0		No. 4, No. 5	0	0	0	10
	カ,第7章 イスラーム世界の拡大と繁栄				7/11				
	第8章 中世ヨーロッパ第9章 中華世								
	界の変容とモンゴル帝国								
8	期末考査対策	0							2
9	前期期末試験		0	0	No. 6	0	0	0	6
	第10章 インド洋海域世界の発展と東南アジア				9/26	0	0	0	
	第 11 章 大交易時代と世界の一体化								
10	第 12 章 ユーラシア諸帝国の繁栄第		ОП		No. 7	0	0	0	6
	13 章 主権国家体制の形成と地球規				10/24				
	模での交易の拡大								
11	第14章 国民国家と近代社会の形成	ОП	ОП		No. 8	0	0	0	4
					11/21				
12	第 15 章 世界市場の形成とアジ	ОП	ОП		No. 9	0	0	0	4
	ア諸国の変容				12/12				
1	第16章 アジア・アフリカ諸国の	00				0	0	0	4
	統治再編と世界分割の進行								
2	後期期末試験(1,2年)	0		00		0	0	0	4
	第 17 章第一次世界大戦の展開と諸地域の変容								
3	一年間の復習、次年度の導入など								4
		I.	I		1				

教科	保健体育		科目		体育 Ⅱ			単位数	2	単位	
対象学年	第 2	2	学年								
授業担当者											
使用教科書	現代高等保健体育 大修館書店 副教材					Active Sports 大修館書店					
スクーリング	必要出席時	計間数	2単位	× 5	1 0	時間以上	スクーリ	ング	`とレポー	トを両	方合格
レポート	必要提出校	数数	2 単位	× 1	=	2枚	すること	で履	修が認め	られる。	
期末試験	合格得点目	標	3 (0	点以	以上	考査範囲のスク	クーリン	ッグ受講とレポー	-ト提出が受	發要件

【科目の目標】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
健康と運動の関連を理解し、い	生活の中に積極的に運動を取り	運動する楽しさや喜びを味わ				
くつかのスポーツについて知識	入れ、継続のための方法を考え	い、継続的な運動習慣を身に付				
を身に付ける。	実践する。	ける。				

	七道出二, 項目		学習方法		レポート	r	面の勧		配当
月	指導単元・項目	スクーリング	レポート	試験	(〆切期日)	知	思	主	時間
4	ガイダンス	00	00			0	0	0	1
	サッカーの競技施設と用具								
	試合の進め方								
5	キックの種類	00	00			0	0	0	2
	主なルール								
	オフサイド・反則と不正行為								
6	スポーツにおける技術と戦術	00	ОП		No.1	0	0	0	2
	効果的な動きのメカニズム				6/24				
7	ボール運動	00				0	0	0	1
	外周散步								
8	試験対策								
9	前期期末試験			00					
10	テニスの競技施設と用具	00	ОП			0	0	0	2
	試合の進め方・主なルール								
11	ボールの打ち方の種類	00	00			0	0	0	2
	スポーツにおける技能と体力								
12	持久走トレーニング	00	00		No.2	0	0	0	2
	映像視聴				12/2				
1	柔軟体操・ボール運動	ОП							2
	試験対策								
2	後期期末試験				00				
3	2 年間の総復習・ボール運動								2

教科	地理歴史		科目			地理総合	,		単位数	2	単位	
対象学年	第	2	学年									
授業担当者												
使用教科書	地理総合 東書					副教材 地理			総合ワークノート			
スクーリング	必要出席時間数 2 単位 ×			位× 1	=	2時間以上	スクーリングとレポートを両方合格す					
レポート	必要提出	出枚数 2 単位 ×		位×3	3 =6枚		ることで履修が認められる。					
期末試験	合格得点	得点目標 20		0	点以上		考査範囲のスクーリング受講とレポート提出が受験要作				受験要件	

【科目の目標】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
地理に関わる諸事象に関して、世	地理に関わる事象の意味や意義,	地理に関わる諸事象について,我				
界の生活文化の多様性など、さま	特色や相互の関連を考察、構想し	が国の国土に対する愛情,世界の				
ざまな情報を適切かつ効果的に調	たことを効果的に説明したり,そ	諸地域の多様な生活文化を尊重し				
べまとめる技能を身に付ける。	れらを基に議論したりする力を養	ようとすることの大切さについて				
	う。	の自覚などを深める。				

	指導単元・項目		学習方法		レポート	評值	面の額	配当	
月	旧得甲兀・垻日	スクーリング	レポート	試験	(〆切期日)	知	思	主	時間
4	第1編	0	0		No. 1	0	0	0	2
	第1章 私たちが暮らす世界				4/29				
5	第2章地図や地理情報システムの役割	0	00		No. 1	0	0	0	3
					4/29				
6	第3章 人々の生活文化と多様な地理	ОП	ОП		No. 2	0	0	0	4
	的環境				5/27				
7	第2編第 1 章 生活文化と自然環境①	ОП	00		No. 3	0	0	0	2
	第2章 地形さまざまな地球的課題と				7/8				
	国際協力								
8	試験対策								
9	前期期末試験			00		0	0	0	3
	第2編第1章4節「生活文化と産業」	0	00						
10	第2編第2章1節「地球環境問題」2節	0	0		No. 4	0	0	0	4
	「資源・エネルギー問題」				9/29				
11	3 節「人口問題」4 節「食料問題」	ОП	00		No. 5	0	0	0	4
	5 節「居住・都市問題」6 節「民族問題」」				10/28				
12	7 節「持続可能な社会の実現をめざして	0	0		No. 6	0	0	0	2
	第3編第1章自然環境と防災				11/25				
1	第2章 生活圏の調査と地域の展望	00				0	0	0	3
2	後期期末試験(1,2年)			0		0	0	0	3
		0	00						
3	一年間の総復習								3